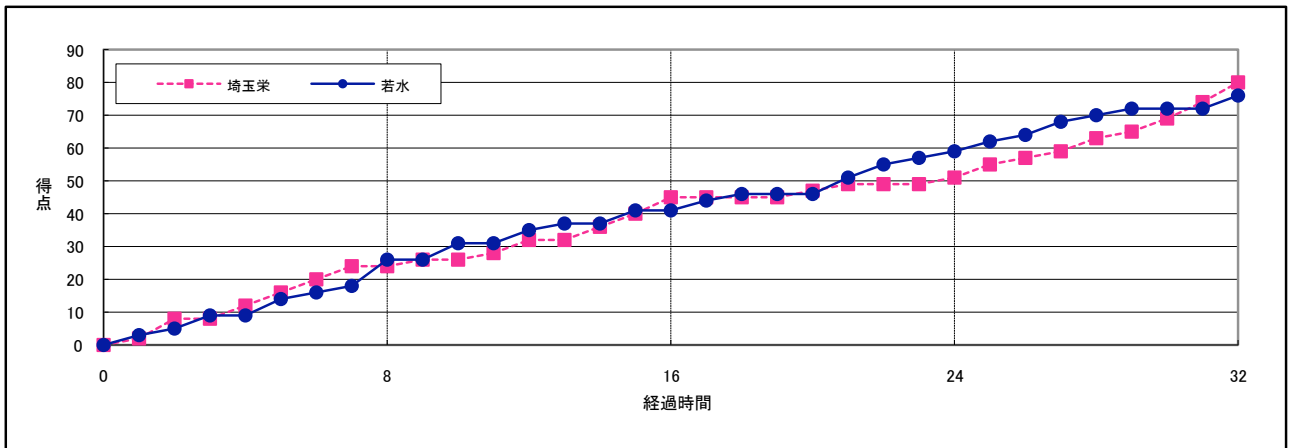


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	2日目 女子 Eコート第3試合 決勝トーナメント1回戦				
日時	8月21日(金)		12:10 ~		
会場	サンアリーナせんだい				
結果	<p>埼玉栄</p> <p>埼玉</p>	<p>80</p> <p>○</p>	<p>24 1st 26</p> <p>21 2nd 15</p> <p>6 3rd 18</p> <p>29 4th 17</p> <p>OT</p>	<p>76</p> <p>●</p>	<p>若水</p> <p>愛知</p>
審判	主審 加藤 秀典		副審 安藤 剛		



【個人トータル表】

×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

埼玉栄							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	小林杏理	×	9	1	3	0	3
5	ナウタヴァイ圭理	×	28	0	13	2	0
6	柿沼かすみ	×	12	0	6	0	4
7	萱沼史織	×	26	0	11	4	3
8	川崎 葉	×	5	0	2	1	3
9	串田 愛美						
10	村上 菜緒						
11	板橋 未歩						
12	藤野 希生						
13	新井 李音乃						
14	柿沼あゆみ						
15	清水 美穂						
16	ナウタヴァイ絵美理						
17	小林 萌香						
18	古井 愛						
監	一ノ瀬 和之						
C	江上 勝幸						
合計			80	1	35	7	13

若水							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	木原 恵里奈	×	6	0	3	0	3
5	小林 結女	×	19	0	8	3	3
6	堀田 結衣歩	×	7	1	2	0	1
7	鐘ヶ江 かおり						
8	古海 まゆこ						
9	大河内 絵理奈						
10	鐘ヶ江 さゆり						
11	井 潤 絢音						
12	宮田 明日香						
13	酒井 彩等	×	25	1	10	2	5
14	渡辺 好美	×	12	2	3	0	1
15	杉浦 百香						
16	高辻 真子	/	7	1	2	0	1
17	北原 あゆみ						
18	加藤 宇希波						
監	杉浦 裕司						
C							
合計			76	5	28	5	14

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

第1P、若水は立ち上がりよりオールコートのプレスディフェンスをしかけ、得意のトランジション・ゲームに持ち込む。それに対し、高さに勝る埼玉栄は、スピードあふれるプレーで真向勝負を挑む。一進一退の展開の中で先にリズムをつかんだのは埼玉栄。#5、#7のポストプレーで点数を積み重ね、3分過ぎには埼玉栄16-12若水とリードする。しかし、残り10秒を切ってから若水#5のジャンプシュートと#14の3Pシュートが決まり埼玉栄24-26若水と若水が逆転して第1Pを終了。

第2P、埼玉栄は高さを生かして#5、#7のインサイドで得点を重ねる。一方の若水は、激しいディフェンスからテンポの早いゲームを展開し、素早いモーションでどこからでもシュートをねらってくる。一進一退でゲームは流れるが、終盤に埼玉栄#5がカットインやフリースローなどで連続ゴールを奪うと、終了間際に#4が3Pシュートを決め、埼玉栄45-41若水と埼玉栄が2ゴール差リードで前半を終える。

第3Pになると、埼玉栄に疲れが見え始め、立ち上がりの3分間はノーゴール。それに対し、若水は#13や#16の3Pシュートなどで攻撃の手をゆるめず、3分過ぎに同点に追いつくと、#13のジャンプシュートや#5のゴール下でのシュートなど連続4ゴールを奪い、埼玉栄51-59若水と再び若水が逆転して第3Pを終了。

第4Pもお互いの持ち味を生かしたバスケットを展開する。しかし、3分過ぎに埼玉栄がタイムアウトをとると、ゲームの流れは埼玉栄に移り、#6のリバウンドシュートや#4のジャンプシュートなどで徐々に点差を詰め、残り1分40秒#7のゴール下シュートで逆転に成功。ところが、残り1分過ぎ、疲れを見せない若水は#5が連続して速攻を決め、埼玉栄74-76若水と再び逆転。これでゲームが決まるかに思われたが、残り10秒を切ったところで埼玉栄は#6と#7がゴール下シュートをねじ込み、フリースローも確実に決め埼玉栄80-76若水とすると、そのまま逃げ切り、埼玉栄が勝利をおさめた。